

6年ファイナルコンサート 「ほんとうの平和をめざして」

わたしたちが、六年生になってから11か月が過ぎました。

新しいクラスになり、友達と仲良くやっていけるか、難しくなる勉強についていけるか

とてもドキドキした始業式。

学年目標を「Lead」として、歩き出した4月から卒業式を目標にしながら、たくさんの思い出を創ってきました。

コロナで規制されてきた運動会も全校遠足、スマイル班活動も…少しずつ日常に戻ってきたこの一年。

その中で、一番の思い出は…ヒロシマへの修学旅行

その活動では、たくさんの「戦争」と出会い、たくさんの「平和」について考えてきました。

これまで、なんとなくのイメージしかわかつたかった戦争。

調べていく中で戦争のおそろしさが少しずつ分かってきました。

戦争、それは、たくさんの命がなくなってしまうこと。大切な日常が一気になくなってしまうこと。

家族や大切な人を奪うもの。弱い立場の人がどんどん苦しめられること。

学習すればするほど、戦争はもう起きて欲しくないという気持ちになりました。

みんなが調べたことをガイドブックにまとめ、千羽鶴や色紙に平和への祈りを込め

そして、向かった ヒロシマ 修学旅行！ネットからの情報ではなく、「本物」の戦争に出会ってきました。

平和記念公園の中には『同じ過ちを二度と繰り返さない』というメッセージがたくさん込められていました。

でも、日本が戦争をしていたのは、今から、80年くらい昔のことです。

そんな昔に起こった戦争のことを、なぜわたしたちは学習しているのか…

その意味を修学旅行から帰って、一人ひとりが考えてみました。

それは…同じ過ちを二度と、繰り返さないため、戦争の悲惨さを知っていくため、

今が「平和」であることを、実感していくため、みんなで、「平和」な世の中を、創っていくため

「平和」がどんなことなのか、考えていくため

「戦争」を学習していく意味を考えてみると、たくさんの「平和」という言葉が出てきました。

でも、みんなが使っている「平和」とはどんなことなのか、ぼくたちにとって、どんなことが「平和」なのか

今、わたしたち六年生が思う「平和」とは何なのか考えてきました。

「平和」とは、戦争がないこと。「平和」とは、今、生きているということ。

わたしたちにとっての「平和」とは、核兵器を持つ国がない、ということ。

「平和」とは、犯罪のない世の中。

「平和」とは、世界中の人が、当たり前に勉強できること。

「平和」とは、世界の人が、仲良く、楽しく暮らしていくこと。

このように、わたしたちが考えた「平和」の中には、いくら頑張っても、すぐには創っていけない「平和」もたくさんありました。でも反対に、わたしたちが頑張れば創っていける「平和」が、たくさんあることも知りました。

わたしたちでも創っていける「平和」とは…みんなが毎日ストレスのない生活を送れること。

信頼し合える関係が一つでも多くあること。

自分らしくいられること。

気を遣わずに、思ったことが何でも言えること。

おどしたり、傷つけあったりすることがない世界。

間違えたことをしている人に対して、本気で怒ってくれる友だちがいること。

戦争や「平和」のことを考えていく本当の意味は、大きくて遠いものばかりじゃなくて、

自分たちのすぐ近くにあることを知りました。

わたしたちが、この香篠小学校を卒業するまで、あと1ヶ月となりました。

3月17日の卒業式で、この舞台に立つときには

6年1組で、過ごした、この 1年間を、6年2組で、過ごした、この 1年間を

香篠小学校で、過ごした、この6年間を

心から、よかったですと、言えるようになりたい

自分たちが考えた「平和」を、自分たちの力で創ったことを誇りにして笑顔で、卒業したい。

この学習を通して、考えてきたこと、そしてこの舞台で、今伝えたことを、

大切にして、これからも歩いていきます。

自分たちの卒業式に、向かって

自分たちの、未来に向かって

令和4年度香篠小学校6年50名